



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_留学生用**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火1,火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110575001002	科目番号	05750010
授業科目名	●日本語 I		
編集担当教員	松本 久美子		
授業担当教員名(科目責任者)	松本 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松本 久美子		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	留学生		
担当教員Eメールアドレス	kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	火 2校時		
授業のねらい	日本の大学の学部で学習するのに必要な日本語能力(特に発表とディスカッション)の習得。		
授業方法(学習指導法)	各回2コマ。1コマごとに発表担当者を決める。発表担当者は自分が選んだ新聞記事の内容について発表する。次に、その記事に関連したテーマについてクラス全体で討論を行う。(新聞記事の中の語彙について小テストを実施する。)		
授業到達目標	発表の方法や討論の際に必要な表現を学び、日本語で自分の考えをまとめて発表したり、その内容について討論したりすることができるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション・自己紹介	
	2	発表の仕方	
	3	発表のためのレポートの書き方	
	4	小テスト 発表・討議	
	5	小テスト 発表・討議	
	6	小テスト 発表・討議	
	7	小テスト 発表・討議	
	8	小テスト 発表・討議	
	9	小テスト 発表・討議	
	10	小テスト 発表・討議	
	11	小テスト 発表・討議	
	12	小テスト 発表・討議	
	13	小テスト 発表・討議	
	14	小テスト 発表・討議	
	15	まとめ	
16			
キーワード			

教科書・教材・参考書	その時話題となっている新聞記事を使用する。また、適宜必要な資料を配布する。
成績評価の方法・基準等	評価:発表およびその準備(レポートを含む)40%、授業参加の積極性30%、テスト30% 単位を得るには最低全授業回数の3分の2以上が必要である。 遅刻3回で欠席1回とみなす。
受講要件(履修条件)	日本語能力試験1級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点相当の日本語能力を有する留学生
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	1校時目と3校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_留学生用**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木1,木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110575001001	科目番号	05750010
授業科目名	●日本語 I		
編集担当教員	茅田 美有紀		
授業担当教員名(科目責任者)	茅田 美有紀		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	茅田 美有紀		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	miyut@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター二階		
担当教員TEL	095-819-2240		
担当教員オフィスアワー	火曜日3、4校時(他の曜日、時間でも可能な場合あり。Eメールでも可能)		
授業のねらい	今後の大学での勉強に役立つ技能の習得、上達を目的とする。		
授業方法(学習指導法)	読解、作文、ディスカッション、発表。グループ活動あり。		
授業到達目標	時事問題や専門的な内容についての記事を理解するだけでなく、自分の意見が持てるようになる。 自分の意見をまとめてレポートが書けるようになる。グループで話し合っ意見をもとめ、発表できるようになる。		
授業内容	三週間で一つの記事について読む、書く、発表する、を行います。 1週目が新聞などの記事の読解、読解問題、レポートの書き方の学習、レポート下書き、 2週目が発表のしかたの学習、発表の準備とレポートの清書、 3週目が発表原稿の修正と発表をします。 これを四回繰り返します。 1回目の授業ではこの流れを短くしたものを一度体験してもらい、 14・15回目の授業はまとめとして、今までのに学んだことを使ってレポートの作成と発表をしてもらいます。		
	回	内容	
	1	4月7日:オリエンテーション、短い記事の読解、レポート作成、発表準備、発表	
	2	4月14日:記事① 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方①、レポート下書き	
	3	4月21日:記事① 発表のしかた①、グループで発表準備、レポート修正	
	4	4月28日:記事① 発表原稿修正、発表	
	5	5月12日:記事② 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方②、レポート下書き	
	6	5月19日:記事② 発表のしかた②、グループで発表準備、レポート修正	
	7	5月26日:記事② 発表原稿修正、発表	
	8	6月2日:記事③ 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方③、レポート下書き	
	9	6月9日:記事③ 発表のしかた③、グループで発表準備、レポート修正	
	10	6月16日:記事③ 発表原稿修正、発表	
11	6月23日:記事④ 読解、内容理解チェック、記事についてディスカッション、レポートの書き方④、レポート下書き		

	12	6月30日:記事④ 発表のしかた④、グループで発表準備、レポート修正
	13	7月7日:記事④ 発表原稿修正、発表
	14	7月14日:記事⑤ 読解、内容理解チェック、レポート作成
	15	7月21日:記事⑤ グループで発表準備、発表
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書		教材:「留学生のための日本語作文演習(中上級用)-第5版-」(初回に配布)、新聞記事など(毎回配布)。 参考図書:「日本語学習者が作文を書くための用例集」宮原彬著、凡人社、1900円+税
成績評価の方法・基準等		授業への参加度20%、グループ活動での積極性 10%、他グループの発表を聞く態度10%、 発表30%、レポート30% ※出席:遅刻三回で欠席一回とみなします。 ※レポート・発表は辞書を使ってもかまいません。インターネットや本の文を使うときは引用文の後ろに()を書いて、著者名と書かれた年を書き、作文の最後に引用文献を書いてください。書いていない場合は剽窃(ひょうせつ)と考え、単位を出しません。
受講要件(履修条件)		日本語能力試験1級合格相当の日本語能力を有する留学生。
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_留学生用**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金1,金3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110575001003	科目番号	05750010
授業科目名	●日本語 I		
編集担当教員	高野 泰邦		
授業担当教員名(科目責任者)	高野 泰邦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高野 泰邦		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	留学生		
担当教員Eメールアドレス	ytakano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター		
担当教員TEL	2241		
担当教員オフィスアワー	金曜日: 10:30~12:00		
授業のねらい	現代日本社会の諸問題をテーマとした文章を素材に、大学生生活に必要な日本語の総合的な技能を習得させる。		
授業方法(学習指導法)	①テーマについて背景となる情報を提供する。②難解語句等を分かりやすく解説する。③受講生に適切な長さの文章を音読させ、要旨を述べさせる。④質問応答により、理解度を確認する。⑤読後の感想や意見を述べさせる。⑥発表のためのテーマ決めさせ、作文を書かせ、添削を数回繰り返し、完成した文章を発表させる。本授業では、読解のための活動を65%、発表のための活動を35%の構成とする。		
授業到達目標	論理的に構成された文章が読める。論理的に考えることができる。あるテーマについてまとまった文章を書くことができる。意見や主張を論理的に述べることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	4月 8日	オリエンテーション／大学で何を学ぶべきか
	2	4月 15日	小学校の英語教育をどうするか
	3	4月 22日	子供のケータイは是か非か
	4	5月 6日	人はなぜ自殺するのか
	5	5月 13日	有効なニート支援とは(1)
	6	5月 20日	有効なニート支援とは(2)
	7	5月 27日	犯罪少年の更生は可能か(1)
	8	6月 3日	犯罪少年の更生は可能か(2)
	9	6月 10日	犯罪少年の更生は可能か(3)
	10	6月 17日	日本的経営の極意とは何か
	11	6月 24日	復習／表現演習
	12	7月 1日	表現演習
	13	7月 8日	表現演習
	14	7月 15日	発表・質疑応答
	15	7月 22日	発表・質疑応答、まとめ、学生による授業評価
16			

キーワード	日本社会の諸相、読む、考える、書く、意見を述べる
教科書・教材・参考書	『日本の論点2007, 2010』から抜粋した文章
成績評価の方法・基準等	授業への参加度:40% 作文:30% 発表:30%
受講要件(履修条件)	予習をして授業に臨むこと
本科目の位置づけ	上級日本語
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_留学生用**」
シラバスの詳細は以下となります。

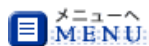


学期	前期	曜日・校時	水1,水3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110575003001	科目番号	05750030
授業科目名	●日本語Ⅱ		
編集担当教員	松本 久美子		
授業担当教員名(科目責任者)	松本 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松本 久美子		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日 2校時		
授業のねらい	日本の大学学部で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力(とくに読解能力)を習得する。		
授業方法(学習指導法)	現代日本について書かれた、様々な種類の文章を読む。基本的には教科書の課にそって授業を進める。授業では、(1)本文内容の理解、(2)文型・語彙・表現の確認、文型・表現練習(3)内容確認、(4)本文の内容に関するディスカッション等を行う。		
授業到達目標	上級レベルの文法や語彙・文字を習得するとともに、上級レベルの文章を読解する能力を獲得する。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	読解・ディスカッション	
	3	読解・ディスカッション	
	4	読解・ディスカッション	
	5	読解・ディスカッション	
	6	小テスト①・読解・ディスカッション	
	7	読解・ディスカッション	
	8	読解・ディスカッション	
	9	読解・ディスカッション	
	10	小テスト②・読解・ディスカッション	
	11	読解・ディスカッション	
	12	読解・ディスカッション	
	13	読解・ディスカッション	
	14	小テスト③・読解・ディスカッション	
	15	まとめ/授業評価	
16			
キーワード	上級レベルの日本語読解能力の獲得		

教科書・教材・参考書	『留学生のための時代を読み解く上級日本語』スリーエーネットワーク
成績評価の方法・基準等	評価は、授業参加の積極性25%・宿題25%・テスト50%によって行う。
受講要件(履修条件)	日本語能力試験2級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点相当の日本語能力を有する留学生。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	日本の大学学部で学習・研究するのに必要な日本語能力(とくに読解能力)の習得。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	予習を前提として授業を進める。 1校時目と3校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「**全学教育-全学教育_留学生用科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る

学期	後期	曜日・校時	火1,火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110575005002	科目番号	05750050
授業科目名	●日本語Ⅲ		
編集担当教員	永井 智香子		
授業担当教員名(科目責任者)	永井 智香子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永井 智香子		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	nagai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター2階(国際交流プラザ2F、国際交流課2F)		
担当教員TEL	095-819-2239		
担当教員オフィスアワー	火曜 4校時		
授業のねらい	テレビの主にドキュメンタリー番組を視聴することを通じて日本語運用能力を高める		
授業方法(学習指導法)	視聴する番組に関連したことについて話し合う→番組視聴→内容確認→語彙、文型の確認		
授業到達目標	日本語上級の力をより高める		
授業内容	回	内容	
	1	10月7日	オリエンテーション、ウォーミングアップ
	2	10月14日	番組視聴 日本語運用練習
	3	10月21日	小テスト 番組視聴 日本語運用練習
	4	10月28日	小テスト 番組視聴 日本語運用練習
	5	11月4日	小テスト 番組視聴 日本語運用練習
	6	11月11日	小テスト 番組視聴 日本語運用練習
	7	11月18日	小テスト 番組視聴 日本語運用練習
	8	11月25日	小テスト 番組視聴 日本語運用練習
	9	12月2日	小テスト 番組視聴 日本語運用練習
	10	12月9日	小テスト 番組視聴 日本語運用練習
	11	12月16日	小テスト 番組視聴 日本語運用練習
	12	1月6日	小テスト 番組視聴 日本語運用練習
	13	1月20日	小テスト 番組視聴 日本語運用練習
	14	1月27日	小テスト 番組視聴 日本語運用練習
	15	2月3日	小テスト 番組視聴 リスニング小テスト
16			
キーワード	聴解		
教科書・教材・参考書	教科書・教材・参考書 プリント教材		

成績評価の方法・基準等	小テスト 出席 詳しくは初日のオリエンテーションで伝える
受講要件(履修条件)	日本語能力試験1級合格相当の日本語能力を有する留学生
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_留学生用**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木1,木3																																
開講期間																																			
必修選択	選択	単位数	2.0																																
時間割コード	20110575005003	科目番号	05750050																																
授業科目名	●日本語Ⅲ																																		
編集担当教員	高野 泰邦																																		
授業担当教員名(科目責任者)	高野 泰邦																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高野 泰邦																																		
科目分類	留学生用科目																																		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目																																
教室	[全]103																																		
対象学生(クラス等)	留学生																																		
担当教員Eメールアドレス	ytakano@nagasaki-u.ac.jp																																		
担当教員研究室	留学生センター																																		
担当教員TEL	2241																																		
担当教員オフィスアワー	金曜日: 10:30~12:00																																		
授業のねらい	現代日本社会の諸問題をテーマとした文章を素材に、大学生生活に必要な日本語の総合的な技能(読む力、考える力、書く力、話す[発表する]力、を習得させる。																																		
授業方法(学習指導法)	①テーマについて背景となる情報を提供する。②難解語句等を分かりやすく解説する。③受講生に適切な長さの文章を音読させ、要旨を述べさせる。④質疑応答により、理解度を確認する。⑤読後の感想や意見を述べさせる。⑥発表のためのテーマを決めさせ、作文を書かせ、添削を繰り返し、完成した文章を発表させる。この授業では、読解のための活動を65%、発表のための活動を35%の構成とする。																																		
授業到達目標	論理的に構成された文章が読める。論理的に考えることができる。あるテーマについてまとまった考えを論理的に書くことができる。意見や主張を論理的に述べることができる。																																		
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10月 6日 オリエンテーション/家族とは何か(1)</td></tr> <tr><td>2</td><td>10月13日 家族とは何か(2)</td></tr> <tr><td>3</td><td>10月20日 長生きは幸福か(1)</td></tr> <tr><td>4</td><td>10月27日 長生きは幸福か(2)</td></tr> <tr><td>5</td><td>11月10日 体罰は許されるか[躰との関係](1)</td></tr> <tr><td>6</td><td>11月17日 体罰は許されるか[躰との関係](2)</td></tr> <tr><td>7</td><td>11月24日 体罰は許されるか[性善説としての体罰](1)</td></tr> <tr><td>8</td><td>12月 1日 体罰は許されるか[性善説としての体罰](2)</td></tr> <tr><td>9</td><td>12月 8日 体罰は許されるか[愛のムチという錯覚](1)</td></tr> <tr><td>10</td><td>12月15日 体罰は許されるか[愛のムチという錯覚](2)</td></tr> <tr><td>11</td><td>12月22日 働くとはどういうことか</td></tr> <tr><td>12</td><td>1月12日 少子化は止められるか/表現演習</td></tr> <tr><td>13</td><td>1月19日 表現演習</td></tr> <tr><td>14</td><td>1月26日 発表・質疑応答</td></tr> <tr><td>15</td><td>2月 2日 発表・質疑応答/総まとめ/学生による授業評価</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月 6日 オリエンテーション/家族とは何か(1)	2	10月13日 家族とは何か(2)	3	10月20日 長生きは幸福か(1)	4	10月27日 長生きは幸福か(2)	5	11月10日 体罰は許されるか[躰との関係](1)	6	11月17日 体罰は許されるか[躰との関係](2)	7	11月24日 体罰は許されるか[性善説としての体罰](1)	8	12月 1日 体罰は許されるか[性善説としての体罰](2)	9	12月 8日 体罰は許されるか[愛のムチという錯覚](1)	10	12月15日 体罰は許されるか[愛のムチという錯覚](2)	11	12月22日 働くとはどういうことか	12	1月12日 少子化は止められるか/表現演習	13	1月19日 表現演習	14	1月26日 発表・質疑応答	15	2月 2日 発表・質疑応答/総まとめ/学生による授業評価
回	内容																																		
1	10月 6日 オリエンテーション/家族とは何か(1)																																		
2	10月13日 家族とは何か(2)																																		
3	10月20日 長生きは幸福か(1)																																		
4	10月27日 長生きは幸福か(2)																																		
5	11月10日 体罰は許されるか[躰との関係](1)																																		
6	11月17日 体罰は許されるか[躰との関係](2)																																		
7	11月24日 体罰は許されるか[性善説としての体罰](1)																																		
8	12月 1日 体罰は許されるか[性善説としての体罰](2)																																		
9	12月 8日 体罰は許されるか[愛のムチという錯覚](1)																																		
10	12月15日 体罰は許されるか[愛のムチという錯覚](2)																																		
11	12月22日 働くとはどういうことか																																		
12	1月12日 少子化は止められるか/表現演習																																		
13	1月19日 表現演習																																		
14	1月26日 発表・質疑応答																																		
15	2月 2日 発表・質疑応答/総まとめ/学生による授業評価																																		

	16
キーワード	現代日本社会の諸問題、論理的構成の文章、読む、考える、調べる、書く、発表する
教科書・教材・参考書	『日本の論点2007・2010』から抜粋した文章
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な参加: 40% 作文: 30% 発表: 30%
受講要件(履修条件)	日本語能力試験N1を合格、あるいはそれと同等以上の日本語力を有している留学生
本科目の位置づけ	上級日本語
学習・教育目標	課された文章は予習として読むようにすること
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_留学生用**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金1,金3	
開講期間				
必修選択	選択	単位数	2.0	
時間割コード	20110575005001	科目番号	05750050	
授業科目名	●日本語Ⅲ			
編集担当教員	永井 智香子			
授業担当教員名(科目責任者)	永井 智香子			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永井 智香子			
科目分類	留学生用科目			
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目	
教室	[全]103			
対象学生(クラス等)	留学生			
担当教員Eメールアドレス	nagai@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室	2239			
担当教員TEL	095-819-2239			
担当教員オフィスアワー	木曜4限、5限			
授業のねらい	テレビのドキュメンタリーや報道番組などを10分程度に編集したものを教材として使って授業を行い、日本語の運用能力の向上を目指す			
授業方法(学習指導法)	ビデオを視聴することと、その内容に関するハンドアウトを使いながら授業を進める。また、毎週の授業の1校時目に小テストを実施する。			
授業到達目標	この授業を通じて、日本語の聴く力の向上が実感できるというだけでなく、日本語を書く力の向上、語彙の増加も実感できるということを目指したい。			
	回	内容	回	内容
	1	オリエンテーション	17	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習
	2	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習	18	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習
	3	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習	19	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習
	4	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習	20	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習
	5	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習	21	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習

授業内容	6	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習	22	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習
	7	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習	23	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習
	8	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習	24	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習
	9	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習	25	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習
	10	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習	26	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習
	11	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習	27	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習
	12	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習	28	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習
	13	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習	29	語彙、文法小テスト 聞き取り小テスト
	14	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習	30	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習
	15	①小テスト ②ビデオの視聴 ③内容確認 ④語彙、文法の確認 ⑤書く練習	31	
	16	①ビデオの視聴 ②内容確認 ③語彙、文法の確認 ④書く練習		
キーワード	ビデオの視聴			
教科書・教材・参考書	ハンドアウトを準備する			
成績評価の方法・基準等	小テスト40% 授業中に書く要約40% 出席 20% 変更の可能性あり。最終的なものは授業の初日に示す			
受講要件(履修条件)	日本語能力試験1級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生			
本科目の位置づけ				
学習・教育目標				
備考(URL)				
備考(準備学習等)				





シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学教育_留学生用科目」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る

学期	後期	曜日・校時	水1,水3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110575007001	科目番号	05750070
授業科目名	●日本語Ⅳ		
編集担当教員	茅田 美有紀		
授業担当教員名(科目責任者)	茅田 美有紀		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	茅田 美有紀		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	miyut@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター二階		
担当教員TEL	095-819-2240		
担当教員オフィスアワー	火曜日2,3校時(他の曜日、時間でも可能な場合あり。Eメールでも可能)		
授業のねらい	今後の大学での勉強の基礎となる読解能力と文章表現能力の向上を目的とする。		
授業方法(学習指導法)	読解、文法学習、作文を行う。		
授業到達目標	文法を理解して使えるようになる。 本文の内容を理解するだけでなく、それに対して自分の意見が持てるようになる。 本文の内容を踏まえて自分の意見をまとめて書けるようになる。		
授業内容	2コマで1課進みます。 教科書は初日から必ず持ってきてください。		
	回	内容	
	1	10月5日:オリエンテーション、16課	
	2	10月12日:17課	
	3	10月19日:18課	
	4	10月26日:19課	
	5	11月2日:20課	
	6	11月9日:21課	
	7	11月16日:22課	
	8	11月30日:23課	
	9	12月7日:24課	
	10	12月14日:25課	
	11	12月21日:26課	
	12	1月11日:27課	
	13	1月18日:28課	
	14	1月25日:29課	
	15	2月1日:30課	
	16	2月8日:期末試験	

キーワード	留学生、読解、作文
教科書・教材・参考書	教科書:「学ぼう! にほんご 上級」日本語教育教材開発委員会 編著、専門教育出版、1800円+税
成績評価の方法・基準等	授業への参加度10%、期末試験40%、クイズ30%、宿題20% ※出席は、遅刻三回で欠席一回とみなします。 ※宿題は、翌週の授業時の提出で1点、二週間後の授業時の提出で0.5点、それ以降の提出は0点です。期限を守って提出してください。
受講要件(履修条件)	日本語能力試験2級合格相当の日本語能力を有する留学生。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	読解、作文
備考(URL)	
備考(準備学習等)	作文は、辞書を使って書いてもかまいませんが、インターネットや本文を引用して使うときは引用文の後ろに()を書いて、著者名と書かれた年を書き、作文の最後に引用文献を書いてください。書いていない場合は剽窃(ひょうせつ)と考え、単位を出しません。





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_留学生用**」
シラバスの詳細は以下となります。

[戻る](#)

学期	後期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110575009001	科目番号	05750090
授業科目名	●日本事情		
編集担当教員	松本 久美子		
授業担当教員名(科目責任者)	松本 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松本 久美子, 夢田 美有紀, 永井 智香子, 高野 泰邦, 松村 真樹		
科目分類	留学生用科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	学部留学生		
担当教員Eメールアドレス	kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	留学生センター		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜 5校時		
授業のねらい	日本社会の様々な側面について学ぶことにより、留学生生活に必要な日本事情に関する知識を深め、日本社会についてよりよく理解できるようにする。		
授業方法(学習指導法)	6人の担当教員がそれぞれのテーマにそって2回もしくは3回の講義を行う。基本的に各テーマごとにレポートを課す。		
授業到達目標	日本社会の様々な側面についてより良く理解できるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション・異文化適応	
	2	異文化コミュニケーション	
	3	言語から見た日本社会①	
	4	言語から見た日本社会②	
	5	言語から見た日本社会③	
	6	日本の方言①	
	7	日本の方言②	
	8	1950年代の日本映画―「二枚目とは何か」	
	9	日本の「漫画」と「まんが」と「マンガ」	
	10	日本の言語教育①	
	11	日本の言語教育②	
	12	日本の言語教育③	
	13	高度成長と日本社会	
	14	高度成長の地方への影響	
	15	日本の少子高齢化	
16			
キーワード			
教科書・教材・参考書	担当教員が必要な資料を配布する。		

成績評価の方法・基準等	レポート75%、授業への積極的な参加状況25%
受講要件(履修条件)	日本語能力試験2級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.